

## 特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報（事後公表）

## 【担当課：政策企画室広報担当】

議 題	大阪市の広報について（改善に向けた意見聴取）
日 時	令和4年2月28日（月曜） 9時30分～11時00分
場 所	大阪市役所本庁舎5階中応接室
出 席 者	(特別顧問・特別参与)： 清水特別参与・山本特別参与 (職員等)： 政策企画室（市民情報部長、広報担当課長）
論 点	・令和3年度企画広報事業（仮称）伝わる広報計画（案）について
主 な 意 見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすい教科書の役割はできていると思うが、初めて広報に携わる人が見るものとしては、もう少し具体事例の追加などがある方が伝わりやすい。</li> <li>・最終的には行動変容につながってほしいはずであり、事業の成功のために広報をやっている意識の醸成が必要。</li> <li>・クロスメディアをすることが必ずしも効果を上げるわけではないので、誤解を与えないように補記が必要。</li> <li>・プランニングシートについて、効果測定の指標として「参加人数」や「アンケート結果」などの項目を追加してはどうか。</li> <li>・タイトルの「広報計画」は漠然としている印象を受ける。</li> <li>・ターゲットを絞ったらその人にしか届かないと思いがちだが、ターゲットを絞ることにより、メッセージの具体性が増し、ターゲット以外にも伝わりやすくなる効果もある。ターゲットを設定することのメリットを伝えてはどうか。</li> <li>・プランニングシートの作成は必須ではないと思うので、シートを作成しているうちに自然と計画ができるような、使う人がメリット感じてもらえるようなものにする必要がある。</li> <li>・プランニングシートに事業目的を簡潔に書くことで整理と広報目的へのつながりができる。</li> <li>・プランニングシートの記載例を3つ程度作成してはどうか。</li> </ul>
結 論	・本日の助言を踏まえ、改善に向け検討を進める。
説明等資料	
備 考	
関係所属 （ 部 課 ）	政策企画室市民情報部広報担当